

中国語教育学会会報

第48号(通巻73号) 2016年9月22日発行

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号
大阪府立大学 高等教育推進機構
清原文代研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第14回全国大会について
 2. 2016年度第1回理事会報告
 3. 2016年度会員総会報告
 4. 『中国語教育』投稿募集
 5. 研究会開催予定
 6. 学会ウェブサイトリニューアル
 7. 事務局からのお知らせとお願い(会員動向・会費納入状況・登録情報変更届の提出のお願い)
-

1. 第14回全国大会について

中国語教育学会第14回全国大会が、2016年6月4日(土)、5日(日)の両日、日本大学文理学部(東京都世田谷区桜上水3-25-40)において開催されました。

初日午前中に第1回編集委員会、及び第1回理事会が開催されました。初日午後にはシンポジウム「読解教育をめぐって」が開催され、平井和之代表理事「初期段階での読解教育の必要性と可能性」、三瀧正道会員「読解力養成の試み—現代白話書面語(論説体)への取り組みを中心に」、松本朝子先生(日中学院)「日本語教育における読解と中国語読解教育の異同、誤用の比較」、大宅利美会員「ピア・リーディングの実践報告—第二外国語中級を中心に」の各講演が行われました。引き続き会員総会が開催され、その後懇親会が開催されました。2日目は研究発表と授業実践の2会場に分かれて午前午後合わせて19本の発表が行われ、それぞれ活発な議論が繰り広げられました。

今回の大会では非会員も含めて153名のご参加をいただき、懇親会には74名が参加されました。また15社の書店にご出店いただきました。講演者、発表者、司会者の方々、参加して下さった会員の皆様、そしてお忙しい中、全国大会の準備にご尽力くださった第14回全国大会準備委員会の先生方に厚く御礼申し上げます。

2. 2016年度第1回理事会報告

2.1 日時・場所・出席者

日時・場所：2016年6月4日(土) 10:30~12:30、日本大学文理学部本館1階会議室B

出席者：清原文代、荒川清秀、郭春貴、平井和之、三宅登之、相原茂、植村麻紀子、内田慶市、加

藤晴子、胡興智、佐々木勲人、鈴木慶夏、陳淑梅、中西千香、藤井達也、丸尾誠、村上公一、山田眞一、豊嶋裕子（編集委員会委員長）、田邊鉄（デジタルリソース委員会委員長）
中田聡美（幹事）

2.2 審議事項

(1) 2016年度予算案

2016年度の予算案が提示された（会員総会で認められた予算案についてはpを参照）。前年度計上されていなかった人件費については、学会ウェブサイトの移転作業のためであると説明があった。事務費が前年度に比べて大幅に高くなっていることについては、事務局業務の外部委託を検討しているため、今後複数の業者の見積もりを検討しつつ、業者を決定することになった。

(2) 名誉会員

内規に基づき2017年度に名誉会員の資格を満たす会員について報告があった（会員総会で認められた名誉会員についてはpを参照）。候補者のうち会費未納による除籍期間があり、その後に会費を追納して会員資格を回復した場合の取り扱いについて審議が行われ、多数決の結果、「継続して15年以上本会会員であったもの」という内規を厳密に適用し、会員資格回復時から新たに15年間をカウントすることとなった。

(3) 2017年度全国大会開催校、全国大会準備委員会

2017年度の第15回全国大会は以下の日時・場所で開催されることとなった。

日時：2017年6月3日（土）、4日（日）

場所：関西大学千里山キャンパス

第15回全国大会（2017年度）準備委員会（五十音順）は以下の通りである。

内田慶市（委員長）、奥村佳代子、塩山正純、中田聡美、氷野善寛

準備委員に関して今後更に増員する予定であると報告された（理事会後に伊伏啓子会員が委員に就任した）。また、幹事を全国大会準備委員会委員とし、学会事務局との連携強化を図ることの報告があった。

(4) 『中国語教育』編集委員会委員長及び編集委員の選出方法について

審議の結果、編集委員長の選出方法については従来通り編集委員による互選とすることとなった。但し『中国語教育』の編集と発行は本学会にとって全国大会の開催と並ぶ重要な学会活動で、理事会との連携を強化すべきであることから、2017年度以降、新任の編集委員のうち1名については、会長が代表理事または理事（いずれも委嘱時）から委嘱することとなり、それに伴い編集委員会内規が一部改定された。

(5) 中国語教育ハンドブック

数年来の懸案であるが、いきなり書籍にできるようなまとまった分量の原稿を集めることは困難と思われるため、学会ウェブサイトのリニューアル後に少しずつ学会ウェブサイトこれから中国語教育に携わる人、教壇に立ってまもない人、中国語学や中国語教育を専門としない人を対象としたコンテンツを作っていくこととした。その第1弾として、2016年度～2017年度の代表理事、理事による署名入りの推薦書リストを作成することになった。

2.3 報告事項

(1) 2016～2017年度役員（案）

2016～2017年度役員（案）の報告があった。この役員（案）は2016年6月4日（土）午後の会員総会において正式に承認された。

(2) 『中国語教育』15号（2016年度）編集委員会

2016年度編集委員会の委員就任者及び委員長就任者について報告があった。

(3) 2015年度決算報告

平井前会長より2015年度の決算報告が行われた（会計監査の結果についてはpを参照）。

なお、全国大会開催費において収入があるのは、開催校の龍谷大学より開催費の全額返金があったためである。会誌売上が多くなっているのは、前年度の会誌売上がそこに組み込まれたためである。

(4) 2016年度第1回編集委員会報告

豊嶋編集委員長より2016年度第1回編集委員会について報告が行われた。

・編集スケジュール

例年どおりであるが、学会事務局より3月末までに学会誌を会員に発送したいという要望があり、例年より納品を早めるには〆切厳守が必須である。

・投稿規程及び執筆要領の改訂について

提出原稿の1行目に著者が原稿種別を記入するようにする。

原稿料は支払わない。発行後、執筆者（共著の場合は筆頭執筆者）に抜刷30部を無料で進呈する。

・査読報告書の形式について

査読報告書の書式は現行では1形式であるが、少なくとも「実践報告」は「論文」と評価項目を変えるべきとの意見が出ているため、豊嶋編集委員長より新しい査読報告書案の説明があり、今年度の投稿〆切（10/31）までに具体的な結論を出すとの報告があった。

(5) 会員動向、及び会費納入状況

2016年4月30日現在の会員動向および会費納入状況について報告があった。2016年度の会費請求が例年より遅くなったことについては、昨年度の『中国語教育』発行遅延に伴い、会計監査が遅れ、会長交代に伴う事務局の移転が4月下旬になったこと、及び会報と振込用紙の印刷及び郵送業務を外部業者に委託したため、校正、印刷、郵送のために一定の時間が必要であったためである。

(6) デジタルリソース委員会の設置

2016年4月9日から4月21日まで理事会メンバーリングリストによる討議、投票を経て、本会のウェブサイトの維持管理及びコンテンツの整備、その他デジタルメディアを通じた情報発信に関連する諸業務を管轄するデジタルリソース委員会が設置された。

デジタルリソース委員会（2016～2017年度）

田邊鉄（委員長）、氷野善寛、平井和之

田邊委員長より今年度の夏期休暇中に学会サーバの移転と学会サイトのリニューアルが行われる予定であることが報告された。

(7) 2016年度の研究会担当者

研究会は学会が主催する全国規模のものであるが、便宜的に東日本と西日本に各2名の担当者を置い

た。

(8) 2016年度第2回編集委員会、第2回理事会開催日

日時：2016年12月11日（日）

場所：愛知大学東京霞が関オフィス

3. 2016年度会員総会報告

日時・場所

日時：2016年6月4日（土）16:20～17:20

場所：日本大学文理学部図書館3階オーバルホール

議長：村上公一

提案者・報告者：清原文代

議案第1号 2016～2017年度役員

提案の通り承認された。（以下、五十音順）

会長：清原文代

代表理事：荒川清秀、郭春貴、平井和之、古川裕、三宅登之

理事：相原茂、植村麻紀子、内田慶市、加藤晴子、胡興智、佐々木勲人、鈴木慶夏、

陳淑梅、中西千香、西香織、藤井達也、丸尾誠、村上公一、山田眞一

幹事：中田聡美、氷野善寛

会計監査：紅粉芳恵、森宏子

議案第2号 2015年度決算報告

本会報末尾の資料1を参照。

議案第3号 2016年度予算

本会報末尾の資料2を参照。

議案第4号 名誉会員の推薦

内規に基づき2017年4月1日に条件を満たす以下の会員を推薦し、承認された。

（敬称略、五十音順）

池上貞子、今井敬子、高橋弥守彦、渡辺新一

なお、2016年4月1日現在で名誉会員の資格を満たす会員（旧内規による最後の名誉会員）については、昨年度の総会にて承認済みである。

報告事項1 会員動向、会費納入状況

最新状況については本会報p7を参照。

報告事項2 デジタルリソース委員会の設置

本会報p3、pp. 6-7を参照。

報告事項3 編集委員会報告

本会報p3、p5を参照。

報告事項4 2016年度研究会

最新の開催予定については本会報pp. 5-6を参照。

報告事項5 2017年度全国大会

本会報p2を参照。

4. 『中国語教育』 投稿募集

『中国語教育』第15号の投稿を募集中です。今年6月の全国大会の際に投稿規程・執筆要領が一部改訂されておりますので、最新版を学会サイトでご確認の上、テンプレートファイルを使用して原稿を作成し、投稿票とともにお送りください。

<http://www.jacle.org/contribution/>

投稿は、原稿のプリントアウト1部を、郵送または宅配便により中国語教育学会事務局（〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 高等教育推進機構 清原文代研究室）に送付してください。締切は**10月31日（消印・受領印有効）**とします。あわせて、原稿の電子データを contrib@jacle.org 宛に**10月31日24:00（日本時間）**までに添付ファイルで提出してください。メールの遅配が生じた場合には、プリントアウト原稿の消印・受領印によって判断します。

プリントアウト原稿・Wordファイル原稿・投稿票をすべて受領し、今年度までの会費納入済みの確認が取れ次第、『中国語教育』第15号編集委員長より投稿者に受領連絡のメールをお送りします。contrib@jacle.orgからのメールが受信できるように設定をお願いします。メール投稿から1週間たっても連絡がない場合は、迷惑メールフォルダをご確認の上、contrib@jacle.org 宛にご一報ください。

5. 研究会開催予定

(1) 2016年度第1回研究会

日時：10月22日（土）13時から16時30分まで（12時30分開場）

場所：早稲田大学早稲田キャンパス16号館4階401教室

<http://www.waseda.jp/top/assets/uploads/2015/08/waseda-campus-map.pdf>

参加費：無料（中国語教育学会の会員でなくても参加可）

*当日参加も受け付けますが、準備の都合上、参加希望者は出来るだけ事前にお知らせください。

連絡先：kanto@jacle.org

*学会サイトの[研究会・講演会]ページに最新情報をUPしますのでご確認ください。

<第一部：研究発表（13：00～13：45）>

莊嚴(秀明大学)・大野早苗(順天堂大学)「中等教育で教えられる書くことの日中比較－「学習指導要領」と「課程標準」及び必修の国語教科書を中心に－」

<第二部：事例報告と意見交換（14：00～16：30）>

「拡大する中国語学習環境－留学生との学習、交流の場をどう作るか」

事例報告1：青野英美・植村麻紀子（神田外語大学）

*神田外語大学の多言語学習空間<MULC (Multilingual Communication Center)>の活動紹介及び授業と授業外活動における実践報告。

事例報告2：報告者調整中（早稲田大学）

*早稲田大学の異文化交流空間<ICC (International Community Center)>のランゲージ&カルチャー・エクスチェンジや中国語・中国文化イベントを中心とした活動実践報告。

意見交換：

*留学生の増大によりキャンパスの多言語化が一気に進んでいます。なかでも留学生に占める中国語母語話者の比率は極めて高く、中国語教育／学習にとっては新しい学びの場や学びの方法を試みる恰好の機会となっています。教室の中に、学校の中に、あるいは学校の外に「留学生との学習、交流の場」をどのように設けたら良いのか？2本的事例報告に加え、参加者の方々にも、多くの事例を持ち寄っていただき、それをもとに意見交換を行います。（実践事例をお持ちの方は是非、事前に上記連絡先までお寄せください。）

(2) 2016年度第2回研究会

日時：11月26日（土）13時30分から16時10分まで（13時開場）

場所：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟3階CALL317教室（大阪府堺市中区学園町1番1号）

<http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html#nakamozu>

講師：水本篤（関西大学外国語学部）

題目：教育実践論文を書くための統計解析入門-授業実践を研究に

定員：38名（事前申込みが必要、先着順）

参加費：無料（中国語教育学会の会員でなくても参加可）

参加申込みは以下のWebページからお願いします。

<http://kokucheese.com/event/index/426272/>

授業実践を論文や研究発表にしてみたいと考えているが、平均の意味はわかるが、標準偏差と言われると自信がない、ましてやt検定や効果量などという言葉は聞いたこともないという方を対象に、1時間の講義と40分間の実習（CALL教室のWindows7搭載のパソコン使用）、20分間の質疑応答を行う予定です。

(3) 2016年度第3回研究会

2017年1月下旬に関東地区で開催予定。

(4) 研究会担当者連絡先

研究会での発表を希望される会員は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

研究会担当メールアドレス（東日本）：kanto@jacle.org

研究会担当メールアドレス（西日本）：kansai@jacle.org

6. 学会ウェブサイトリニューアル

学会サイトを、スマートフォンでもタブレットでもパソコンでも見やすいデザインに全面的にリニューアルしました。まだ一部移行作業中の部分がありますが、新しいコンテンツも追加中です。URL（アドレス）に変更はありません。

<http://www.jacle.org/>

リニューアルについてメールで会員に予告する予定でしたが、作業の進行の都合でできませ

んでした。また、リニューアルに伴って一時期学会の管理するメールアドレスが不通になった時期がありました。ご心配をおかけして申しわけありませんでした。

トップページのヘッダ部分の写真を募集中です。中国語教育学会に相応しい写真で、ご自分で撮影した写真など著作権の問題が無いもの、人物が誰かわかるような状態で映っている場合は肖像権に関する許諾を得ているものがありましたら、事務局までお寄せください。

学会ウェブサイトのリニューアルに伴い、メールアドレスをお届けいただいている会員の皆様に学会からのお知らせを配信するメーリングリストを設置しました。メーリングリストの設置を知らせるメールは9月8日に配信済みです。届いていない場合はお手数ですが迷惑メールフォルダをご確認ください。一部のGmailのメールアドレス及びGmailに転送をしているメールアドレスでは迷惑メールフォルダに入っている事例が報告されています。

7. 事務局からのお知らせとお願い

7.1 会員動向

2016年9月10日現在の会員数は485名（内顧問・名誉会員23名、住所不明者6名）です。なお会報第47号発行時（2016年5月25日）以降の新入会員は以下の通りです。

越山拓馬（愛知大学・院）、宮島琴美（国土館大学・非）、羅沢宇（静岡文化芸術大学）
伊伏啓子（北陸大学）、藤本健一（大東文化大学）、蟹江静夫（名古屋外国語大学・非）
劉国彬（福山大学）、日中学院教学委員会、眞島淳（台湾師範大学・院）

また以下の方々の住所等が不明です。御存知の方は事務局までお知らせください。

宗曉蓮、孫珊珊、鄭立民、李孟娟、王萌、彭臣晨

7.2 会費納入状況

2016年9月10日現在、298名の会員から2016年度までの会費を納入いただいております。ご協力まことにありがとうございました。未納の方はお早めに納入くださるようお願い申し上げます。特に払込票記載の金額が15,000円以上の方は大至急納入ください。会則第5条により2年間にわたり納入のない場合は、3年目に会員資格を失うこととなります。

また『中国語教育』へのご投稿をお考えの方で、今年度の会費が未納の方はなるべく早くお納めください。投稿が事務局に届いた時点で会費が納入済みであるかどうかを確認いたします。送金の通知は郵便で事務局に届きますので、入金から確認まで最長1週間ほど時間がかかります。

7.3 登録情報変更届の提出のお願い

学会登録情報（住所・所属・メールアドレス等）の変更を希望される方は、年会費の払込票に変更内容を記載なさらず、必ず「登録情報変更届」を学会事務局までご提出下さいますようお願いいたします。退会を希望される方も同様に「退会届」の提出をお願いいたします。各種届出書は以下学会ウェブサイト内にごございます。

<http://www.jacle.org/form/>

資料1 2015年度会計決算書

中国語教育学会2015年度会計決算書

	収入		支出	
	2015年度予算	2015年度決算	2015年度予算	2015年度決算
会費	¥2,400,000	¥2,286,500		
事務費			¥300,000	¥98,714
郵送費			¥400,000	¥459,000
手数料			¥5,000	¥6,912
会議費			¥50,000	¥41,783
旅費			¥400,000	¥310,954
全国大会開催費		※1 ¥400,000	¥400,000	¥400,000
研究会等開催費			¥50,000	¥65,000
会誌編集印刷費			¥650,000	¥465,372
名簿編集印刷費			¥200,000	¥127,008
会誌売上	¥120,000	※2 ¥189,500		
幹事手当			¥200,000	¥200,000
利子	¥600	¥1,237		
小計	¥2,520,600	¥2,877,237	¥2,655,000	¥2,174,743
前年度繰越金	¥4,730,754	¥4,730,754		
予備費/次年度繰越金			¥4,596,354	¥5,433,248
合計	¥7,251,354	¥7,607,991	¥7,251,354	¥7,607,991


※1：第13回全国大会開催校龍谷大学からの余剰金返金分。

※2：内山書店2014年度分¥73,500、2015年度分（2月末締）¥113,750、第13回全国大会時売上¥2,250。


監査の結果、経理内容は適切であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2016年 4月 23日

2015年度会計監査

豊嶋 裕子 

2015年度会計監査

稲葉 明子 

資料2 2016年度予算（案）

	収入	支出
前年度繰越金	5、433、248	
会費	2、400、000	
事務費		700、000
人件費		150、000
郵送費		500、000
手数料		5、000
会議費		50、000
旅費		400、000
全国大会開催費		400、000
研究会等開催費		70、000
会誌編集印刷費		500、000
会誌売上	120、000	
幹事手当		200、000
小計		2、975、000
予備費／次年度繰越金		4、978、248
合計	7、953、248	7、953、248